

# Neues in Nara

Nr. 79

2022年5月6日



前列右に、クレメンス・フォン・ゲッツェ大使、左にマルティン・エバーツ総領事

## Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daijanji.or.jp/jdgn/index.html>

編集委員：林 (hayashiy@zeus.eonet.ne.jp)、峯本 (hmine-24@m3.kcn.ne.jp)

編集委員より：会員の皆様からの積極的なご投稿をお待ちしています！

### ●行事予定

#### 1. 奈良日独協会・2022年度年次総会

2022年度総会は、コロナの情勢が依然として予断を許さない状況のため昨年同様、中止することにしました。2021年度の事業・会計報告及び2022年度の事業計画・予算について、理事会で承認されましたので、茲許同封送付申し上げます。諸般の事情ご賢察頂き、同封のはがきによる書面での決議をお願いします。

### ●行事報告

#### 1. 駐日ドイツ大使と総領事来会

3月16日(水)、駐日ドイツ連邦共和国大使クレメンス・フォン・ゲッツェ (Dr.Clemens von Götze)、大阪・神戸総領事マルティン・エバーツ (Martin Eberts)ご両名が、同総領事館飛鳥井たまき通訳官の同道で来奈、朝一番に当協会を訪問された。まず、本堂での会長による祈祷の後、嘶堂の諸仏を拝観され、大安寺の歴史を実感されるとともに、当会の歴史と現在の活動状況について理解を深めていただく貴重な来訪であった。



2. 「第3回ドイツ映画会」と「シュタムティッシュ」開催；3月26日(土)午後、大安寺「獅子吼殿」において、ドイツ映画「バルトの楽園」(ドイツ語名 "Ode an die Freude")を鑑賞した後、恒例の「シュタムティッシュ」にうつり、参加者14名みんなで和やかな歓談会を催した。



### ●お知らせ

#### 1. 加納雅之顧問退任

当会のために、長年貢献された加納雅之顧問が3月31日付けで退任されました。ご苦労様でした。

#### 2. 奈良国立博物館・特別展「大安寺のすべて」

上記特別展が4月23日から6月19日まで奈良国立博物館で開催されています。会員の皆様も、是非ご覧下さい。

### ●会員だより

橋本 学さんから

「ラーティンゲンの奇跡」

最後にドイツに行ったのは2019年4月だった。妻の学生時代の友人のブリギッテさん一家が、戸建ての家を買ったというので、連休を使って思い切って、家族全員で遊びに行った。

友人の家はドイツ西部、デュッセルドルフ近郊のラーティンゲンという町にある。大都会のベットタウンで住宅が多いが、やはり中心には教会があり、日曜日は朝市に新鮮なパン、チーズ、野菜、肉類の露店が立ち並ぶ。

さて、ここに記したいのは滞在時のとある偶然についてである。滞在中のある日、友人の車で町を案内してもらった帰りのこと。彼らの家にまさに着こうかという瞬間だ。助手席に座っていた私の目にある店の光景が飛び込んできた。それは友人宅の向かいの作業着店だ。

私は妙な感覚に襲われた。「この店…前に来たことがある…」。不意にこんな言葉が自分の口から出ていた。「あの店のご主人と話したことがある！」。私はラーティンゲンに初めて来たと思っていたが、以前に仕事でこの店を訪れていたのだ。

そう。2015年に私はデュッセルドルフで開かれたワークウェアの国際見本市に日本人50人ほどを案内し、ついでに現地のワークウェア店巡りをするという会社の企画で通訳を務めた。閑静な住宅街の小さな店に日本人が大型バス2台で乗りつけ、混雑する店内で通訳に追われた。よほどの珍事だったようでこの出来事は後日、地元紙の記事になったほどだ。

その3年後、私の妻の友人一家が偶然、その店の向かいに家を買ったのである。この話に驚いた私と友人の夫妻は、店の主で隣人であるペーターさんに声をかけてくれ、教奇な再会を皆で喜び合った。この話は日独両方の家族で“ラーティンゲンの奇跡”として語り継がれている。



友人宅の向かいにあるワークウェアショップ



日独両家族で親睦を深めた (左が筆者)



子供たちも交流